

平成30年度
事業計画書

公益財団法人 防府市文化振興財団

平成30年度事業計画書

I 平成30年度 基本方針

本財団は、平成23年4月に山口県知事から公益財団法人として認定され、平成29年度には、公会堂、図書館など6施設の指定管理者として防府市から指定を受けており、各施設において様々な事業を企画運営し、市民文化と教育の振興に努めてまいりました。

文化事業では、山口市の作曲家岡田昌大が書き下ろした組曲「金子みすゞ」を壮大な音楽で初演披露するなど多彩なコンサートで新年を盛り上げた「第17回防府音楽祭」等により地域の音楽力の向上に努め、展覧会としては防府市出身の絵本作家「田頭よしたか展」や「印象派展」を開催しました。特に今回の展覧会においては、財団内の他部門と連携して取組み相乗効果を発揮しました。

新たに開始した山頭火ふるさと館事業については、開館に備えた準備業務の後、10月の開館特別企画展「山頭火の句 名筆特選」に続いて1月からの「山頭火の旅空」など、企画展や様々な催し等を開催し、順調に指定管理業務の第一歩を踏み出しています。

科学事業では、春に「昆虫わくわく探検館」、夏に「世にも不思議な映像の世界」、秋に「スイエンサー ぐるぐるつながる探検隊」など、子どもから大人まで幅広い人々が、分かりやすい展示や解説により、科学への興味・関心を高めることができる企画展等を開催し、青少年科学館開館以来の入館者数が8月には100万人に達しました。

図書館事業では、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス閲覧・複写業務とともに、学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書貸出サービスを開始しました。また、視覚障害者用の音声付インターネット利用サービスも開始しています。

平成30年度は、本財団の設立20周年であると同時に、地域交流センター（アスピラート）・青少年科学館（ソラール）開館20周年の節目の年となりますので、平成29年度事業の検証に基づいて、記念の年にふさわしい多彩な事業活動を展開してまいります。

文化事業については、公会堂、地域交流センターを拠点に、幅広い分野で市民の皆様の芸術文化活動に資するために、「鑑賞」、「育成」、「普及」、「発表・支援」の各種事業に取り組んでまいります。音楽事業では、クラシック音楽、ポップスから伝統芸能まで様々な音楽に触れる場を提供し、音楽への興味・関心を広げていきます。美術事業では、例年の地元文化に密着した事業に加え、親子で楽しめる展覧会などを開催し、多方面から地域の文化振興を目指します。

山頭火ふるさと館事業については、開館初年度の経験や来館者の声を大切に、創意工夫をこらしながら、館の設置目的達成に向けた活動をより活性化できるよう事業を推進してまいります。

科学事業については、防府市の「企業版ふるさと納税」による補助金で、自然の中に隠されているものづくりのヒントや実例を紹介する企画展を計画し、次代を担う青少年へ、科学技術への興味関心と理解増進のための事業を行います。また、防府市が2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のセルビア共和国のホストタウンに登録されたことに伴い、セルビア共和国の発明家ニコラ・テスラの企画展を開催し、これに関連したニコラ・テスラについての啓発事業も事前に行うことにより、セルビア共和国との友好の機運を盛り上げてまいります。

図書館事業については、図書館法等の趣旨に沿って適正な管理運営を行い、「防府市図書館サービス振興基本計画」や「第2次防府市子ども読書活動推進計画」に基づき、教育及び文化の情報拠点として資料・情報提供サービスの充実に努めるとともに、ボランティア・生涯学習グループ等と協働し、集会・文化活動の推進に取り組めます。

本財団は、平成30年度においても、広く芸術文化、科学、教育に関する事業を通じて市民の皆様の心豊かな生活を育むべく、これらの事業に積極的に取り組んでいく方針です。

II 平成30年度 事業概要

基本方針に基づき、定款の目的に沿った事業を展開することで、公益法人の使命達成に向けた取り組みを進め、防府市の文化振興を図ります。

また、収益事業についても、利用者のサービス向上につながる運営に努め、公益目的事業の財源として活用します。

1 文化の創造・発信及び文化活動の支援事業

「市民一人ひとりが文化を享受し、文化を育み、文化を創り出すことができる環境づくりを行う」という本財団の基本理念に沿い、平成30年度においても、鑑賞、育成、普及、発表及び支援事業それぞれにおいて、市民の皆様に親しまれる幅広い事業展開を行ってまいります。

また、昨年度秋に開館した山頭火ふるさと館での事業運営を通じて山頭火の顕彰と継承に努め、文化の活性化に努めてまいります。

防府市公会堂・防府市地域交流センター（アスピラート）

(1) 鑑賞事業

① 音楽事業

クラシックからポップスまで様々な質の高い音楽を、防府市民をはじめ周辺地域の方々に提供し、音楽への興味・関心を高めていきます。

平成30年度は、財団設立・アスピラート開館20周年となることから、これを記念した大型公演など多彩な事業を企画し、音楽文化の裾野を広げるための取り組みに努めます。

また、防府市出身のアーティストを大切にするとともに、地域のニーズをつかみ、魅力的な音楽鑑賞事業を展開します。

ア クラシック

[主催事業]

- a 第18回防府音楽祭くほうふニューイヤーコンサート2019>

…平成31年1月11日(金)～14日(月・祝)(予定)

会場：アスピラート他

その他1～2本を予定

[共催事業]

- a 全国大会出場記念コンサート

…平成30年12月頃予定(内容未定) 会場:防府市公会堂

その他1～2本を予定

イ 伝統文化

[主催事業]

- a (仮称)伝統芸能公演 …(内容・開催時期未定) 会場：未定

その他1～2本を予定

ウ ポップス等

[主催事業]

- a 会員招待事業

講演会として講師調整中 …平成30年4月頃予定 会場：防府市公会堂

- b キティーズパラダイス …平成30年8月26日(日) 会場：防府市公会堂

- c 著名アーティストによるポップスコンサート 1～2本

…(内容・開催時期未定) 会場：防府市公会堂又はアスピラート

- d 著名アーティストによる大型公演

(地元テレビ局、プロモーター等との共同企画) 1～2本

…(内容・開催時期未定) 会場：防府市公会堂又はアスピラート

- e ファミリー向け公演 1～2本

…(内容・開催時期未定) 会場：防府市公会堂又はアスピラート

その他 1～2 本を予定

[共催事業]

- a 吹奏楽の夕べ 2018 ブリヂストン吹奏楽団久留米コンサート
…平成 30 年 10 月 3 日(水) 会場：防府市公会堂
- b ポップス等コンサート 5～6 本
…(内容・開催時期未定) 会場：防府市公会堂又はアスピラート
- c その他音楽以外のジャンルの公演 2～3 本
…(内容・開催時期未定) 会場：防府市公会堂又はアスピラート

② 美術事業

地元文化に密着した事業に加え、開館 20 周年を記念して著名な美術家の美術展や、親子で楽しめる展覧会などを開催し、多方面から地域の文化振興を目指します。

[主催事業]

- a (仮称)アスピラート開館 20 周年記念「キキララ・マイメロ展」
…平成 30 年 7 月初旬～8 月初旬(予定) 会場：アスピラート
- b (仮称)アスピラート開館 20 周年記念・八幡学園創立 90 周年記念
「山下清展」と「防府のアウトサイダー・アート展」(予定)
…平成 30 年 10 月中旬～11 月中旬(予定) 会場：アスピラート
- c (仮称)「アスピラートでクリスマス 2018～冬灯り展」
…平成 30 年 12 月頃 会場：アスピラート
- d 美術鑑賞バス(2 回) … i)平成 30 年 6 月(予定) 行先未定
ii)平成 30 年 11 月(予定) 行先未定

その他 1 本程度を予定

[共催事業]

- a (仮称)ふるさとの匠たち～第 11 回「腕前探訪」技あり!やまぐち
…平成 30 年 9 月頃(予定) 会場：アスピラート

その他 1 本程度を予定

(2) 育成事業

本財団の特色ある事業として、育成事業を継続発展させてまいります。

① 音楽事業

防府音楽祭への出演を含め、参加者の充実度をより高めるとともに、音楽を聴くだけでなく、参加することの喜びを体験できるようなカリキュラムで展開します。

- a こども合唱教室 …月 4 回(毎週土曜日) 会場：アスピラート他
- b 弦楽合奏教室 …月 2 回(日曜日) 会場：アスピラート他
- c 吹奏楽教室 …月 4 回(毎週月曜日) 会場：アスピラート他

- d 合唱教室 …月3回(毎週木曜日) 会場:アスピラート他
- e チェンバロ講座(全3回程度)
…平成30年8月~10月(予定) 会場:アスピラート

② 美術事業

美術展に併せた各種ワークショップや講座に加え、市民から要望の多い幼児から楽しめる造形ワークショップの実施や、小中高校生向けのデザインポスタープロジェクト等、より多くの子どもたちを対象として美術育成事業の充実を図ります。

- a 「ゆめあーとひろば」6回程度実施
…平成30年7月~平成31年2月(予定) 会場:アスピラート他
 - b (仮称)瀬戸内デザイングランプリ2018
…平成30年11月下旬頃(予定) 会場:アスピラート
- その他1本程度を予定

(3) 普及事業

各種音楽セミナーを開催し、音楽に対する興味・関心を広げてもらうように普及事業を展開します。

① 音楽セミナー

[主催事業]

- a (仮称)音楽セミナー 田中雅弘の音楽旅日記16
…平成30年7月16日(月・祝)(予定) 会場:アスピラート
- b (仮称)音楽セミナー 楽器と音楽
…平成30年8月頃(予定) 会場:アスピラート

[共催事業]

- a 室内楽セミナー
…平成30年7月13日(金)~15日(日)(予定) 会場:アスピラート他
- その他1~2本

(4) 発表・支援事業

[主催事業]

- a フェスタアスピラート2019(音楽部門)
…平成31年3月3日(日)(予定) 会場:アスピラート
- b フェスタアスピラート2019(美術部門)
…平成31年3月1日(金)~3日(日)(予定) 会場:アスピラート

[共催事業]

- a 防府少年少女合唱団演奏会 …平成30年7月22日(日) 会場:アスピラート

- b 防府吹奏楽団定期演奏会 …平成 30 年 11 月頃 会場：防府市公会堂
- c 防府弦楽合奏団定期演奏会…平成 30 年 10 月 7 日（日）会場：アスピラート
- d 第 27 回能章まつり …平成 30 年 10 月 20 日（土）会場：アスピラート
- e 第 39 回山頭火全国自由律俳句大会・第 21 回山頭火生誕祭

（５）文化施設の管理運営

施設の設置目的に沿ってそれぞれの特徴を活かしながら、市民が利用しやすい施設づくりに努めます。

① 防府市公会堂

昭和 35 年の開館から 60 年近くが経過、また舞台音響・照明設備の大規模改修工事からも 15 年程が経過し、経年劣化による修繕箇所が多数発生しています。

現在、利用者の方に安全で快適な空間を提供できるよう、各所にわたり細かな点まで日常点検するなどの維持管理を行っており、施設設備の故障やトラブルが発生した場合には、防府市と連携しながら速やかな修繕を行っています。

また、平成 31 年 1 月から平成 32 年 3 月までを予定期間として、防府市による耐震補強及び大規模改修工事が施されることになっており、その間は全館休館となりますので、利用者の方には大変ご迷惑をおかけすることとなりますが、ご理解とご協力をお願いしております。会館の利用を再開する時期については、改めて防府市から発表されることになっています。

工事内容としては、耐震化並びに大ホールの客席椅子の更新も含めた施設設備の全面リニューアルが予定されており、当財団は平成 10 年度以降当館を管理運営してきた立場から、現在抱えている課題や多くの利用者の声ができる限りこの工事に反映されるよう、防府市と打ち合わせを重ねております。

運営については、昨年度から新たな告知メディアとして運用を開始したメールマガジンで、一般利用者の催事を取り上げた紹介を行うなどして、利用者を側面からサポートする体制も強化しています。

さらに、当財団内部においては、会館の枠を超えた研修や意見交換なども積極的に行い、職員のさらなる資質向上に努め、より一層のサービスの充実と向上を図り、多くの方に親しまれる施設づくりを目指すことで、利用率の向上を図ります。

また、火災や地震等の緊急時の対策として、大ホールでの大勢の来場者を想定した避難誘導の訓練を定期的に実施し、事故を未然に防ぐための、また事故が発生した場合でも被害を最小限に留めることができるような体制づくりを目指しています。

今後も、指定管理者としての自覚をもって、利用者の立場に立った維持管理と運営を行います。

② 防府市地域交流センター（アスピラート）

お客様の立場に立った施設運営を第一とし、誰もが利用しやすい施設を目指します。本年度は具体的に次のような部分に力を入れていきます。

まず1つ目は、ホームページのリニューアルです。ホームページには、イベント情報をはじめ、チケット情報、施設の利用方法など、多岐にわたる情報を掲載しています。リニューアルにあたっては、それらをよりわかりやすいものにしていきます。

2つ目は、Wi-Fi環境の整備です。来館者が手軽にインターネットにアクセスできるよう、アスピラート1階及び2階の一部において、Wi-Fiが利用できるようにします。

そして、3つ目は、運営サービスレベルの向上です。新人・ベテラン問わず一定のサービスレベルが保てるよう、接遇方法・業務手順等を標準化していきます。特に経験や勘に依存している部分について、可能な限り可視化するよう努めます。

また、地域社会との連携活動を推進します。昨年と同様、社会見学やインターンシップの要請があれば、積極的に受け入れていきます。毎年恒例となっているバックステージツアーも開催し、より多くの人にアスピラートを知ってもらうよう努めます。

なおアスピラート2階の展示室においては、かねてより展示壁の穴・傷・汚れ等が指摘されており、今回補修工事が予定されています（工事期間：平成31年1月～3月末）。

（6）財団会員の運営管理

防府市文化振興財団では、文化事業はじめ財団の各事業について、市民の皆様のご理解とご支援をいただく財団会員の募集活動を実施しています。会員特典として「財団通信」によるイベント情報の提供や会員先行販売・割引などを実施しております。

平成28年7月からは従来の1年会員に加え、会員の安定化をめざし5年会員を制度化しました。

また平成29年10月からは財団メールマガジンをスタートさせ、会員の安定化につながる取組みを展開しています。

今後とも、事業活動の一層の充実はもちろん、市民の皆様にとって有意義な財団事業の広報に努め、財団会員の増加を図ってまいります。

山頭火ふるさと館

昨年10月に開館した山頭火ふるさと館には、

- 1 山頭火を顕彰・継承する記念館としての文化施設としての役割
- 2 「うめてらす」等と連携して新たな人の流れをつくり、防府市を活性化する観光施設としての役割

3 学校や公民館等と連携してあらゆる世代の人たちが学ぶ教育施設の役割

以上3つの役割が求められています。その3つの役割を踏まえて・運営事業・研究普及事業・収益事業・管理業務を推進して参ります。

(1) 運営事業

山頭火ふるさと館の案内や催し等について、市民ボランティアとの協働を推進し、来館者や市民に親しまれる館運営を目指します。

① 案内業務

山頭火ふるさと館には、無料ゾーンと有料ゾーンがあり、多くのお客様が来館されますので、受付カウンターには常時職員を配置し、来館者に対する施設の総合案内や主催事業への参加誘導等を行って、一人でも多くの方に山頭火の世界に触れていただくよう努めます。なお、来館者の多い休日等には、展示室前にも職員を配置して来館者をご案内します。また、人材育成の視点から本館職員の研修システムを確立し、専門性とプロ意識を高め、お客様対応に生かします。

② ふるさと展示交流室の運営業務

交流室については、通常は多くのお客様に気軽に利用していただけるスペースとして無料開放し、山頭火のふるさと防府の様々な情報発信ができるよう努め、施設の有効活用を図ります。また、山頭火学習会や自由律句勉強会を交流室で開催し、教育研修施設としての機能を促進させます。

交流室を専用して使用するための申請があったときは、市の条例及び規則に基づいて、使用許可等の事務を適正に実施します。

③ 広報活動

全国におられる山頭火ファンに向けて、ホームページや広報誌等、各種メディアを活用して山頭火に関連する情報発信を積極的に行います。また、フェイスブックを使って山頭火ふるさと館の魅力を日々発信し、山頭火や自由律俳句に親しんでいただくとともに山頭火ふるさと館へ足を運んでいただけるよう努力を続けて参ります。

④ 評価活動

来館者からのアンケート調査を実施し、館の運営に生かします。また、来館者ノートを置いて、感想等を記入していただき、入館者の声を反映させていけるよう努力して参ります。

(2) 研究・普及事業

① 関連資料の整理・保存、調査・研究、情報収集活動

山頭火ふるさと館の収蔵資料は、大切に整理・保存して確実に後世に継承します。資料については、学術的な調査・研究を行い、その成果を様々な形で発信して活用に努めます。

また、全国唯一の山頭火の専門施設として、他の施設や研究者と交流し、山頭火に関連する情報の収集に努めます。

② 展示活動

ア 特別企画展等

常設展示だけでは十分に紹介できない、山頭火や山頭火を取り巻く人々、自由律俳句の魅力等を観覧者に伝えるための特別企画展を開催します。特別企画展の開催期間以外については、特別展示室のケースを利用して、所蔵する資料の一部を紹介する企画展を開催します。この場合、資料の劣化防止や観覧者への配慮等の観点から、同じ資料が長期間展示されることのないよう、計画的に入れ替えを行います。

a 企画展①「山頭火とふるさと防府」

3月10日（土）～5月6日（日）

b 企画展②「常識を打ち砕け！自由への誘い 自由という名のルール」

5月11日（金）～7月1日（日）

c 特別企画展「山頭火を囲む人々」

7月6日（金）～10月8日（月・祝）

d 企画展③「山頭火と定型俳句」

10月13日（土）～12月2日（日）

e 企画展④「意外とかわいい山頭火」

12月7日（金）～2019年2月3日（日）

f 企画展⑤「淡きこと水の如し 山頭火の愛した水」

2月8日（金）～4月7日（日）

イ 常設展示

導入展示室と常設展示室では、山頭火の生涯や人間的な背景を紹介するパネルと資料を展示します。資料の劣化防止や観覧者への配慮等の観点から、同じ資料が長期間展示されることのないよう、年に一回以上、一部展示の入れ替えを行います。

ウ 無料ゾーン

「防府ゆかりの文藝家たち」の展示のほか、毎月、「今月の山頭火句」を選んで掲示し、来館者に紹介します。

また、俳句に親しむ人の増加を目指し、投句箱を設置して、文芸活動の活性化を図ります。

③ 教育普及活動

「山頭火をうたい 山頭火にしたしみ 山頭火をつたえる」ことを目的に、山頭火や自由律俳句等をテーマとしたセミナー、ワークショップ等を企画し、ふるさと展示交流室を利用して開催します。

小・中学校等の社会見学を積極的に誘致します。なお、団体利用等の観覧者から

要望があったときは、職員が解説を行います。

ア 山頭火を学ぶ会 月1回、全10回

イ 自由律俳句講座（小中学生・一般対象） 月1回、全10回

ウ （仮称）書道コンテスト 7月～8月開催予定

エ （仮称）山頭火フォトコンテスト 10月～11月開催予定

オ 山頭火カルタで書き初め大会 1月開催予定

カ その他企画展関連イベント 1回程度

④ 交流活動

市民ギャラリーやふるさと展示交流室等を利用して、文化協会等と連携し、市民の作品等を展示することで、市民の文化活動を支援し、市民文化の振興を図ります。

また、市内の新たな文化施設として、うめてらすや周辺の商店、地域住民団体等と良好な関係を築くよう努め、地域の行事・企画等に積極的に協力することによって、地域の文化発展に貢献してまいります。

⑤ 本財団内部の連携事業

本財団でこれまで実施している、音楽・美術・視聴覚ライブラリー・図書館等の事業と山頭火ふるさと館の事業との連携を図って相互の事業発展につなげていくことを目指します。

また、他施設にも投句箱を設置する等、財団全体で山頭火ふるさと館の事業を支援するネットワークを広げます。

（3）管理業務

① 施設・設備・備品の維持管理と環境整備

施設・設備・備品の点検と日常的な修繕を適切に実施し、日常かつ計画的な清掃業務を行うことにより、来館者が安全で快適に利用できる環境整備に努めます。

② 保安・警備・防犯対策

山頭火ふるさと館には無料コーナーがあり、誰もが自由に入出りできる環境にあるため、職員による定期的な見回りや監視カメラの活用により、常に的確な館内・館外の状況把握・防犯管理に努めます。

安全管理上問題がある行為や迷惑行為に対しては、利用中止や退館の措置を講じるなど、必要に応じて警察への通報を踏まえた毅然たる態度で対応します。

③ 危機管理

自然災害、火災、事故、犯罪等の発生に適切に対処するため、危機管理マニュアルや危機管理体制の整備、消防法等の関係法令に基づく定期訓練の実施、救急救命講習会等への定期的な参加等により、全ての職員が、緊急事態の発生や危機を迅速に認識し、的確な対応が取れるよう備えます。

2 科学及び科学技術に関する知識の普及・啓発を図る科学館運営事業

市民の科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図るとともに、創造性豊かな青少年を育成することを目的として設置された防府市青少年科学館は、「科学を、やさしく、ふかく、たのしく」をモットーに、ともに学び、考える機会を創出し、楽しむことのできる施設運営に取り組んでおります。

第三期指定管理期間の3年目となる平成30年度は、開館20周年を迎える節目の年となります。そこで、開館20周年にふさわしい話題性のある企画展を開催し、多くの方々にソラールの魅力を発信し、科学の楽しさや面白さを伝えて参ります。

また、防府市の「企業版ふるさと納税」による補助金で、自然の中に隠されているものづくりのヒントや実例を紹介する企画展を計画し、次代を担う青少年へ、科学技術への興味関心と理解増進のための事業を行う予定です。

さらに、防府市が2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のセルビア共和国のホストタウンに登録されたことに伴い、平成30年度は、セルビア共和国の発明家ニコラ・テスラの企画展を開催する予定です。さらに、企画展の開催だけではなく、これに関連して、事前にニコラ・テスラについての啓発事業も行い、機運を盛り上げる計画です。

(1) 教育普及事業

① 日常事業

平成30年度は、防府市の企業版ふるさと納税による資金で、常設展示の一部リニューアルが所轄担当課により計画されております。これに伴い、当館ではリニューアルにふさわしい展示物の選定等に加わり、青少年が体験でき、より科学を楽しみながら学習できる展示物導入へ向けて協力して参ります。

また、回廊展示室は、平成29年度中にフロアの改修工事がなされるため、既存の太陽のシアターのほか、展示物の設置やサイエンスショーの会場として使用できるなど、多目的な利用が可能となります。この回廊展示室を有効利用して、より充実した事業を推進して参ります。

なお、太陽望遠鏡による太陽活動の観測（ガイドツアー）、たのしい工作、サイエンスショーなども来館者に大変人気があることから継続して行い、科学を楽しく学ぶ機会の提供に力を入れます。

科学館での体験をきっかけに科学に興味をもち、科学の楽しさや奥深さを追求できるよう、教育普及事業を展開します。

ア たのしい工作

土・日・祝日に、主に幼児から小学校低学年を対象にした簡単な工作教室を開催

します。月ごとにテーマを変え、科学的な原理、原則や、道具の使い方などを学習できる教室です。

イ サイエンスショー

科学の原理をショー形式で紹介し、楽しみながら科学への興味を深めます。土・日・祝日に実施するとともに、平日は学校団体からの要望にもお応えします。団体の利用については、学年や目的に応じた内容のショーを実施し、科学への興味、関心を育みます。

ウ ソラールの科学教室

防府の自然を観察、学習したり、ものづくりを通して科学の奥深さを追及したりする科学教室を実施します。少人数の講座で、科学を掘り下げて学べます。

② 特別事業

子どもから大人まで幅広い人々が、わかりやすい展示方法や解説により、科学への興味・関心を高めることができる事業を展開します。一年間を通してより多くの人々が来館されるよう、魅力的で多様な企画を実施して、科学に親しむ機会を提供します。

また、企画に関連した講座なども積極的に行います。

ア 春休み工作教室

【平成30年4月1日（日）～4月8日（日） 8日間】

学校の春休み期間中に、各種科学教室を実施します。今回は、整理券なしでも随時参加できる教室をさらに1教室追加し、子どもたちがより多くの体験ができるようにし、充実した春休みを過ごせる学びの場を提供します。

イ 企画展「コロコロ探検ランド ～木のおもちゃで楽しくコロコロしよ！～」

【平成30年4月28日（土）～6月10日（日） 38日間】

木の玉をコロコロ転がして楽しく遊ぶことのできる木のおもちゃを多数展示します。たとえば、グルグル回転しながら木の玉が落ちていくコロコロサイクロン、磁石の壁にレールを貼り付けて木の玉が転がるコースを自分で作るコロコロマグネット等、様々な木で作られた展示物を体験することにより、力学を楽しく学ぶことのできる企画展です。

ウ 特別展「未来の科学の夢絵画展」

【平成30年6月16日（土）～7月1日（日） 14日間】

公益社団法人発明協会が、次代を担う青少年の科学的な探究心と創造力の伸長をはかることを目的として開催している「第40回未来の科学の夢絵画展」の全入賞作品を展示します。

エ 夏休み特別企画「サイエンスアカデミー2018」

【平成30年7月14日（土）～7月31日（火） 15日間】

当館が毎年開催している夏休み恒例の特別企画です。講師に、小学校から大学ま

での先生方、企業や他の博物館の方などをお迎えし、幅広い分野の講座を実施します。また、予約なしで参加できる工作コーナーも、充実した内容で実施します。

オ 企画展「ニンニン・忍者展～忍びの学び！ニンジャ道場～」

【平成30年8月7日（火）～9月9日（日） 33日間】

近年、国内のみならずクールジャパンの象徴として海外でも人気の「忍者」について、科学的視点からの体験展示を行います。忍者の忍術や道具、暮らしなどを科学的視点から捉えた展示を中心とし、実際に体験することや当時の実物資料を見ることで、日本の古の知恵のすばらしさや歴史を感じとり、さらなる興味の喚起へとつなげます。小さなお子さまから大人の方まで、様々な「生きるための知恵」を学べる企画展です。

カ 防府市小中学校科学作品展

【平成30年9月26日（水）～9月30日（日） 5日間】

防府市小・中学校教育研究会理科研修部との共催事業として、市内の小・中学校の児童・生徒の夏休み自由研究・工作から校内選考で選ばれた優秀作品を展示します。

キ 企画展「ネイチャーテクノロジー展（仮称）」

【平成30年10月16日（火）～12月2日（日） 42日間】

地球環境が悪化していく現代において、自然から学び、自然の中に多く潜んでいるテクノロジーの種を賢く活かした新しいものづくりと私たちの暮らしのかたちを創り直し活かそうとする新しい試み「ネイチャーテクノロジー」が、世界中で注目されています。

今回の企画展は、防府市の企業版ふるさと納税を活用した事業の一環として、自然に隠されたものづくりのヒントや事例について紹介し、これからの新しいテクノロジーの方向性と可能性について考えるきっかけづくりを狙いとしています。

ク ソラールのクリスマス2018

【平成30年12月22日（土）～12月24日（月・祝） 3日間】

館内にクリスマスデコレーションを施した温かな雰囲気の中、クリスマスらしい工作教室やビデオ上映、楽しく華やかなサイエンスショーなどを行います。

ケ 企画展「ニコラ・テスラ展（仮称）」

【平成31年1月26日（土）～3月3日（日） 32日間】

防府市とセルビアのバレーボールチームとの東京オリンピックホストタウン計画実施協定の中で、防府市とセルビアとの文化交流も推進していく一環として、ニコラ・テスラ展を開催します。

ニコラ・テスラは、エジソンのライバルと呼ばれたセルビア人天才発明家で、現在世界中で広く使われている交流電力システムの生みの親です。また、あまり知ら

れていませんが、蛍光灯やテレビのリモコンなどの原理もニコラ・テスラの発明です。

この企画展は、セルビアのニコラ・テスラ博物館から貴重な資料を多数お借りし展示するとともに、電気の仕組み等が楽しく学べる体験型の展示も行います。

これらの展示を通じて、ニコラ・テスラという偉大な発明家の功績を知っていただくとともに、日常生活の中で欠かすことのできない電気について興味をもつていただくことを目的に開催します。

(2) 情報収集保管事業

太陽望遠鏡による太陽観測映像や、防府の発明家「柏木幸助」の資料などを収集保管します。また、収集した資料を使った展示や学習支援活動により、科学や科学技術に関心を持ち、考える機会となるよう、所蔵資料の効果的な活用に努めます。

なお、常設展示リニューアルへ向けた他館の展示物の情報収集にも努めます。

(3) 啓発調査研究事業

防府の自然や、科学教育、科学技術などに関する調査研究を行い、地域の科学教育の推進に努めます。また、科学の楽しさを伝えるための教材開発にも取り組みます。

(4) 学校連携及び外部連携事業

① 学校連携事業

市内の小中学校への出前講座や機器の貸出しなどを通して、青少年への科学の普及活動を積極的に行います。また、希望者が増加傾向にあるインターンシップをはじめ、職場体験学習、学芸員実習により、人材育成支援も行います。

② 外部連携事業

博物館や大学、企業、地域の団体、並びに科学系博物館加盟上部団体と連携し、楽しみながら科学への興味を深めることができるアウトリーチ活動や科学教室、企画展の開催を目指します。

また、外部の団体と連携することで、社会に根差した科学館となるよう努めます。

③ 防府市少年少女発明クラブ

防府市少年少女発明クラブでは、ボランティアグループ「サイエンスFUNクラブ」のメンバーが指導員となり、子どもたちが主体的に学びながら、楽しんで活動しています。

様々な活動の中で、ものづくりにも挑戦しています。作品の一部は、ソラールのクリスマスで展示しています。また、公益社団法人発明協会主催の「未来の科学の夢絵画展」への参加など、科学的な創作活動を続けている発明クラブの活動を引き続き支

援します。

(5) 科学教育指導員派遣事業

増加している出前講座の依頼に対応するため、必要な知識・技術をもった人を指導員に育成したり、指導員のスキルアップの支援をしたりして、科学教育指導員派遣事業を更に充実させます。

(6) 情報提供活動

ホームページをはじめ、「そらーる通信」や「ソラール年報」で活動の情報や実績を広く紹介します。また、財団通信や市広報、報道機関への情報提供にも努め、積極的にPR活動を行います。

そのほか、小学校の社会見学など団体利用の誘致を進め、施設の利用促進に努めます。

(7) 財団会員特典

これまで、芸術文化など科学とは異なる分野に興味があり科学館を利用されなかった方にもご来館のきっかけとなるよう、平成 28 年度から開始した防府市文化振興財団の会員に対する割引を継続します。さらなる利用促進に向けて、身近なテーマを取り上げるなどして、利用者の裾野の拡大に取り組みます。

3 学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興に関する事業

視聴覚教材や機材の充実と活用を図って、学校教育や社会教育における学習効果を高める事を目標とします。この目標達成のために、以下の事業を推進します。

(1) 視聴覚教材や機材の計画的な充足

視聴覚教材や機材に対する利用状況や利用者の要望を分析し、運営委員会などで検討をして、具体的な充足計画を策定します。

充足計画に従って、視聴覚教材や機材を整備し、新規整備した教材などの内容を利用者に紹介し、利用の促進を図ります。

(2) 視聴覚教材や機材の貸出管理

視聴覚教材の目録を整備し、利用者に周知します。視聴覚教材の目録をホームページで検索できるよう引き続きデータの整理、更新を行います。また、追録を作成し、学校など市内の諸教育施設に送付します。

視聴覚機材の保守点検に努め、利用申込み者の要望に応えられるように努めます。

(3) 防府市青少年科学館の多目的ホールでのビデオ上映

青少年科学館の事業内容に適合する視聴覚教材を選定して上映することにより、科学教育の普及を支援します。また、クリスマスには、科学事業の「ソラールのクリスマス」に合わせ、クリスマス上映会を行い、来館者サービスに努めます。

(4) 市内小学校あて巡回ビデオの配送

防府市小学校教育研究会視聴覚教育研修部の先生方が選定された視聴覚教材を、市内小学校内で計画的に上映できるように配送します。

(5) ビデオ撮影編集講習会の開催

地域住民の視聴覚教材制作への関心を高め、技術の向上を目的とした講習会を開催します。また、平成28年度から開始した「タブレット講習会」も引き続き開催します。

(6) ホームページの充実

上述の視聴覚教材目録の検索の保守・改善や、自主制作の「地域教材ビデオ」や「ビデオ撮影編集講習会」などを、インターネット上でどなたでも視聴できるシステムも継続して整備します。

4 教育及び文化の情報拠点として生涯学習の支援を図る図書館運営事業

教育及び文化の情報拠点として、図書館資料・情報提供サービスの強化・充実を図るとともに、資料・情報を活用できる生涯学習活動の拠点として、集会・文化活動を推進します。

(1) 図書館資料・情報提供サービス事業

① 資料収集業務

図書館資料の選書・収集は、「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づいて行い、質・量両面の充実を図ります。地域資料、特に防府市関係資料については、防府図書館独自の特徴的なコレクションの形成に努めます。図書購入目標冊数12,600冊。内一般9,500冊、児童3,000冊、郷土関係100冊。視聴覚資料購入目標点数155点。内CD130点、DVD25点。

② 資料管理業務

ア 資料の受入れ・目録整備

資料の受入れに際しては、受贈資料も含めて、体系的・継続的に管理するための

迅速・正確な資料組織化・装備を行います。資料受入れと同時に、日本目録規則に基づく事務用コンピュータ目録を作成・整備し、利用者に分かりやすいOPAC（オンライン閲覧目録）検索画面等を提供します。

イ 資料の分類・書架管理・蔵書点検等

資料の分類は日本十進分類法新訂8版に基づき適切な書架分類と配列を行い、常に書架の整理整頓に努めるとともに、返却資料を迅速に処理し、10月と3月に全開架資料の蔵書点検作業を行います。延滞資料については電話・葉書・Eメール等により定期的に返却を督促し、延滞資料に予約が入った場合は随時督促を行います。

③ 資料提供業務

窓口カウンターでは、資料の貸出及び返却業務、利用登録業務、予約・リクエスト受付業務等を、正確かつ迅速に行います。また、個人情報保護の観点から自動貸出機の利用奨励を図り、より利用し易い環境の整備に努めます。

④ 図書館コンピュータシステム管理業務

図書館コンピュータシステムの効果的・効率的な運用により、図書館サービスの強化を図ります。特に、Web上での資料検索・予約・貸出期間延長、及び利用者が自らの読書履歴を管理する読書手帳、利用者がWeb上で読みたい本や既に読んだ本を管理するMy本棚、読書目標や読書量を個人管理する読書マラソン等の機能の活用により、図書館利用の促進を図ります。

⑤ 情報提供・広報業務

ア 図書館ホームページ

ホームページを適切に管理運営するため、随時正確な情報を更新して内容の整備を図り、電子媒体による情報提供サービスの充実に努めます。

イ 広報紙等・その他のメディア

月刊の「ほうふ図書館だより」、「ほうふとしょかんこどもしんぶん」、「新刊紹介」等の広報紙を発行し、行事関係チラシを作成するとともに、市広報「ほうふ」に図書館関係記事を定期的に掲載します。また地域コミュニティーFMラジオやケーブルテレビ等の各種メディアを積極的に活用して、利用者への情報発信に努めます。

ウ 図書館年報

「平成29年度図書館年報」を作成し、冊子及びホームページで公表します。

⑥ サービス環境整備業務

ア 施設・設備・備品の維持管理と環境整備

図書館施設・設備・備品の点検と日常的な修繕を適切に実施し、恒常的かつ計画的な清掃業務を行うことにより、安全で快適に利用できる環境整備に努めます。

イ 保安・警備・防犯対策

図書館は不特定多数の人が利用し、誰もが自由に出入りできる環境にあることを

踏まえ、施設管理会社・警備会社・警察等との連携を密にしながら、常に的確な状況把握・防犯管理に努めます。安全管理上問題がある行為や迷惑行為に対しては、毅然たる態度で対応します。

ウ 危機管理

自然災害、火災、事故、犯罪等の発生に適切に対処するため、危機管理マニュアルや危機管理体制の不断の改善、消防法等の関係法令に基づく年2回の定期防災訓練への参加、普通救命講習会の実施等により、全ての職員が、緊急事態の発生や危機を迅速に認識し、的確な対応が取れるよう備えます。

エ 利用マナー啓発活動

7月1日から8月31日まで「マナーアップキャンペーン」を実施して、利用マナー向上のための啓発に努めます。

⑦ 移動図書館運行業務

図書館から遠距離に居住する方、障害のある方、交通手段のない方等の幅広い利用を促進する市内全域サービスの充実を図るため、移動図書館車に常時約3500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で巡回します。業務を適正に運用するため、コース、ステーション等は、半年毎に見直しを行います。

⑧ 参考業務（調査研究相談・読書相談業務）

ア 調査研究相談業務

資料相談カウンターでは、司書有資格者が、利用者への調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスを行います。また、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス閲覧業務の利用促進を図るとともに、他の図書館や市内外の関係機関等に照会したり利用者をそれらの機関へ案内・紹介するレフェラルサービスを行います。児童カウンターでは、資料利用案内・読書案内等の業務を行って、子どもの学習活動・読書活動を支援します。さらに、レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー（テーマ別資料利用案内）等の充実努めるとともに、レファレンス研修や利用者とのコミュニケーションを図るフロアワークの強化に努めます。

イ 図書館資料の複写サービス

利用者の求めに応じ、著作権法や防府市手数料条例に基づいた図書館資料の複写サービスを適正に実施します。

⑨ 春川市立図書館との資料交換業務

大韓民国春川市立図書館との資料交換協定に基づいて、100冊程度の資料を相互に寄贈・受贈し、受贈資料を市民の利用に供します。

⑩ 学校図書館支援業務

防府市教育委員会や小中学校との連携を密にして、学校図書館とのオンライン・ネ

ットワーク・システムを活用した学校支援図書の利用促進を図るとともに、学校司書の研修機会や場の提供、貸出文庫の利用促進に努めます。

⑪ 地域文庫・団体貸出業務

地域の読書活動支援業務の一環として、市内15ヶ所の公民館に配本所を設置する地域文庫事業を運営します。また、市内の施設・団体等の読書活動を支援する団体貸出業務として、貸出文庫事業を行います。

⑫ 他の図書館や博物館・文書館との連携業務

他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・研修活動等を積極的に展開するとともに、博物館や文書館等との連携強化に努めます。

⑬ 障害者・高齢者へのサービス業務

障害者・高齢者への資料・情報提供サービス向上のため、行政やボランティア団体等と連携・協力し、点字・音声資料・大活字本等の整備・充実に努めるとともに、郵送貸出・視覚障害者用音声付インターネット利用サービス・対面朗読サービス等、種々の方法の活用により障害者・高齢者の図書館利用の促進を図ります。

(2) 集会・文化活動推進事業

① ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務

「第8回防府市子ども読書フェスティバル」(5月27日開催予定)、「第28回防府図書館まつり」(10月20日開催予定)等について、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催し、図書館事業への市民参画の推進を図ります。

また、認知症にやさしい図書館をめざし、ボランティア団体等と連携・協力し、講習会等の実施に取り組みます。

② 図書館主催ボランティア活動推進業務

ア 防府図書館ボランティア連絡会議(1月開催)

図書館ボランティアの現状と課題について、図書館と各ボランティアとが認識を共有し活動環境を整備していくため、情報や意見を交換する連絡会議を開催します。

イ 図書館ボランティア養成講座(2月頃4回シリーズで開催)

図書館ボランティアの裾野の拡大と活動レベルの向上を図るため、必要な基礎知識の習得と技術の向上に資する講義・演習を行う講座を開催します。

③ 図書館主催イベント・懇談会業務

ア 講演会(5月開催)

「第8回防府市子ども読書フェスティバル」(5月27日開催予定)において、元福音館書店編集長の松本徹氏による講演会を開催します。

イ 防府図書館ビブリオバトル(5月・7月・11月開催)

読書推進啓発活動の一環として、小学生から大人まで参加できる本の紹介コミュニケーションゲーム「ビブリオバトル(知的書評合戦)」を開催します。

ウ 防府図書館利用者懇談会(12月開催)

より身近で利用しやすい図書館となるよう、利用者の意見や提言を聴いてサービスの向上を図るため、参加者を募集して利用者懇談会を開催します。

④ 資料展示・展覧会業務

展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター横での月例資料展示、及び新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示は、それぞれ利用者の関心や時宜に即したテーマを選定し、定期的に行います。

展示室の常設展示「上山満之進と三哲文庫」は、随時展示替えを行います。また、上山満之進の顕彰と三哲文庫の事績の後世への継承を行う事業の一環として、防府市教育委員会がアスピラート展示ホールで5月2日から28日まで開催する「上山満之進没後80年展」を共催します。

新聞・雑誌コーナーの壁面では、市民や行政機関等の求めに応じ、絵画・写真その他の作品展覧会を開催します。

⑤ 生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務

生涯学習グループの活動拠点として図書館の活用を奨励するため、研修室他、集スペースの利用許可等の業務を適正に行い、機会・場・設備・資料等を各団体に提供して、図書館での活動の支援と周知、団体の育成に努めます。また、研修室については、利用予定の無い日に学習室として開放します。

⑥ 防府史料刊行業務

防府市関連の史料等を翻刻・刊行しホームページ上にも掲載する「防府史料」刊行業務は、第68集「近松浄瑠璃の本質と総合美的研究」下巻(若月保治・著)を発行します。

⑦ 子どもの読書活動推進のための業務

ア 子ども図書館員(8月2回開催)

子どもたちの図書館業務への理解を深め、読書活動を推進するため、夏休みに小学校高学年を対象とした「子ども図書館員」を開催します。

イ 防府市図書館を使った調べる学習コンクール

子どもたちの資料を使って調査研究する能力を育むため、市内の小中学生を対象に防府市教育委員会が開催する「第6回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を共催し、学習能力の向上と図書館利用の促進・啓発に取組みます。

ウ 職場体験・図書館見学等の奨励

職場体験等のインターンシップ、図書館見学等について奨励し、図書館への理解促進と利用拡大に努めます。

エ ボランティアとの連携・協働

ボランティア主催の諸行事・研修等において、図書館職員のブックトーク等を実施し、連携・協働を推進します。

オ 出前講座・出張イベント等の開催

子どもの読書活動推進のための啓発事業の一環として、子どもたちや、子どもの読書活動を推進する人たちの集まる公共施設・民間施設等に出向き、図書館職員による、おはなし会・ブックトーク・講習会・講座等を実施します。

⑧ 本財団内部の連携事業

毎月1回、財団内連携推進会議を開催し、各館の事業等に関する情報交換をするとともに、連携事業の展開について協議を行います。

ア 文化事業との連携

地域交流センター（アスピラート）で開催される親子や子どもを対象としたイベントに合わせ、アスピラートの市民スペースやフリースペース等において「おはなし会」を開催したり、2階ミニシアターで子ども向けDVDの無料鑑賞会を開くなど、図書館利用の促進・読書推進のための出張イベントを行います。また、アスピラートの企画展やイベントに合わせ、関連図書の展示やブックトーク等を図書館及びアスピラートで行うとともに、ミニブックリストやパスファインダー（テーマ別資料利用案内）の作成・配付をします。

イ 科学事業との連携

ソラールで開催される企画展・イベント等に合わせて、図書館及びソラールで関連図書の展示・ブックトークを行うとともに、ミニブックリストやパスファインダー（テーマ別資料利用案内）の作成・配付をします。また、「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」やソラールの「紅葉どんぐり便」「ニンニン・忍者展」において、連携事業を行います。

ウ 山頭火ふるさと館との連携

山頭火に関する資料や情報の収集等について連携するとともに、関連した資料の展示やミニブックリスト・パスファインダー（テーマ別資料利用案内）の作成・配付を行います。

5 収益事業

利用者のサービス向上につながるよう、防府市公会堂の有料駐車場の運営や、チケットの受託販売、青少年科学館と山頭火ふるさと館のショップ運営などを展開します。

これらの事業で得た収益は、公益目的事業の一層の充実を図るために活用します。

(1) 有料駐車場

公会堂利用者の利便性を高めるため、有料駐車場の管理運営を行います。

大ホールを利用した催し物では、同時時間帯に駐車場の利用が集中することが多いので、安全かつスムーズに出庫できるよう精算機に職員を配置するなど、利用者に配慮したサービスの提供に努めます。

また、専門業者による定期的な点検のほか、日常の目視点検などにより不具合を早期に発見し、安全な運営に努めます。突発的な設備の故障やトラブルについても、適切に対応します。

なお、設備の設置から約17年が経過し、精算機等の機器の老朽化により故障が頻繁に発生しており、利用者にご迷惑をおかけしないように努めていますが、設置メーカーによる部品供給期限も超えているため修理不能な部品もあり、公会堂の改修工事に合わせて、機器の更新等を含めた、有料駐車場の維持管理について防府市と協議しています。

(2) チケットの受託販売

公会堂、地域交流センターでは、他館で開催されるチケットを積極的に受け入れ、利用者のサービスに努めるとともに、チケット購入で来館されたお客様に、本財団で実施する事業を知っていただく機会にします。

(3) 青少年科学館ミュージアムショップ

質が良く信頼性の高い商品、科学的で生活の中に共有できる商品を提供することで、ミュージアムショップの利用者増を図り、財源の確保につなげます。

また、科学館の教育的目的に関連させた商品の取り扱いを増やすことにより、科学館での体験をより豊かにするようなミュージアムショップの運営に努めます。

(4) 山頭火ふるさと館ミュージアムショップ

受付横のミュージアムショップで、引き続き山頭火に関する物品など、山頭火ふるさと館来館の記念になるような物品を販売します。

平成30年度からは新たに日本酒を取り扱う予定です。